

# 人間総合科学学術院人間総合科学研究群

## 教員研究分野一覧(博士後期課程)

＜世界遺産学学位プログラム＞

研究分野	教員名	研究内容
持続的遺産保全	飯田 義彦	自然・人間の相互作用システムにおける持続可能な遺産の保全管理に関する研究を行う。とくに持続可能性、生物文化多様性、地球環境学の観点から実践的に考究する。
現代社会の文化芸術研究と都市遺産，創造性と市民参加	池田 真利子	ドイツを中心とした中央・西ヨーロッパの都市遺産の市民参加型保存・活用のほか、世界あるいは日本の現代社会における有形・無形の文化の保存・継承・変容と創造性・文化創造産業の役割に関して、人文学的・地理学的観点に基づく理論・実証的研究を行う。
開発観光計画	伊藤 弘	地域の特徴を形成する自然と文化を結びつけ、持続的に活かし続ける観光および地域のあり方と、その実現方策に関する研究を行う。
遺産整備計画	上北 恭史	遺跡、建造物の保存手法、地域再生事業などの活用計画について研究し、地域の自然環境とともに継承されてきた木造建造物や伝統的集落の調査や保存体制の構築、防災への対策、保存活用計画策定など遺産の保存に関わる計画的手法を考究する。
文化的景観	黒田 乃生	人と自然の関わりが生み出した文化的景観について保護制度、景観の変遷と住民とのかかわりに関する研究を行う。
建築遺産	下田 一太	伝統建築、歴史的地区、考古学サイトの歴史・意匠・構造・技法等の学術的評価や、保存・修復・活用にかかる研究を行う。
古代エジプト史・文化史研究と文化遺産	肥後 時尚	古代エジプトを中心とした古代世界の文化遺産の歴史・文化的価値を分析・評価するための文化史研究、古代の文化遺産の保存・修復・活用にかかる研究を行う。
保存科学	松井 敏也	遺産や博物館資料等の保存と活用のために、自然科学的手法を用いてそれらの劣化の解明や、予防

		技術、修復材料などの研究を行う。
保護地域管理 学	三ツ井 聡美	世界自然遺産や国立公園の保全と利用の両立のために、管理に携わるステークホルダーの意識や行動について科学コミュニケーションの観点から研究を行う。
美術遺産	八木 春生	本研究分野では、中国を中心とする仏教美術作品が、いかなる目的で造られ、それをどのように見せようとしたかを明らかにすることで、それぞれの評価をおこなう。

2025年4月現在